

## 岡山大学の学生との意見交換会を開催

若い世代に財政や金融に興味を持ってもらうことや、地元国立大学の岡山大学との更なる関係強化等を目的として、同大学の学生と「金融行政」、「日本の財政」をテーマとする意見交換会を開催。

### 概要

岡山財務事務所は、岡山大学の学生と「金融行政」、「日本の財政」をテーマとする意見交換会を開催した。開催に当たり、同大学経済学部の担当教授と打ち合わせを重ね、グループ討論する議題を検討し、事前に、学生へ議題を提示して考えを整理してもらったうえで、当日のグループ討論を行った。

#### ○意見交換会の進め方

当所幹部が講義を行った後、当所若手職員も加わったグループ毎に、議題に対する討論を行い、学生が意見を発表。

#### ○意見交換会の内容

##### ●テーマ：「金融行政」

平成29年8月に、当所の貫名理財課長による講義の後、「低金利が経済や家庭に及ぼす影響」、「金融機関にやってほしい地域活性化策」を議題とするグループ討論を実施。



講義の様子

##### ●テーマ：「日本の財政」

29年10月に、当所の橋本所長による講義の後、「財政赤字を減らすためにどう対応すべきか」、「社会保障費の増加にどう対応すべきか」を議題とするグループ討論を実施。



グループ討論の様子

### 取組の成果と今後の展開

○グループ討論を通じ、学生に、地域金融機関の役割や日本の財政が抱える課題を考えてもらう機会となった。

#### 学生の発表

- 「地域金融機関にやってほしい地域活性化策」  
人を呼び込むための観光振興、移住者に対する低利の住宅ローンや仕事のマッチングなど移住促進に向けた取組。
- 「財政赤字を減らすためにどう対応すべきか」  
歳出削減に向け、増加が著しい社会保障費を抑制するため、ジェネリック医薬品の利用拡大等を通じた医療費削減。

○教授からは「普段の授業では、具体的な学びが少ないので、意見交換会の開催は学生にとって良い刺激になった」との感想を得た。



同大学経済学部HPに意見交換会が掲載

今後も同大学との連携を深め、当所若手職員と学生との意見交換会を継続して開催することを通じて、学生に金融行政や国家財政への関心を高めてもらう。